



NPO法人eboard  
やさしい字幕プロジェクト企画書

This material is confidential and the property of NPO法人eboard.

学びをあきらめない社会へ

NPO法人 eboard



## プロジェクトサマリー

本事業は、動画教材に「やさしい字幕」をつけることを通じて、

約7万人以上の子ども達の学習機会を保障する取り組みです。

### 対象

ろう学校・難聴の子ども	約21,000人 ～47,000人
日本語指導が必要な児童・生徒	約50,000人
認知や特性の観点からニーズを持つ子	学習障害のうち音韻認識によるもの等
合計	約71,000人～ 100,000人

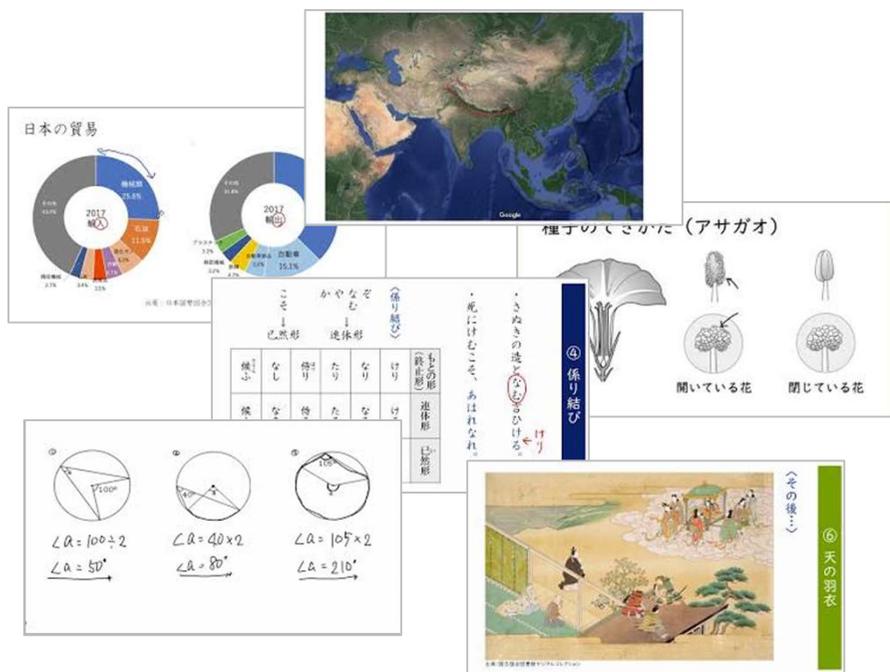
### 課題

- 字幕がついた映像教材は少なく、字幕がついたものでも、言語力の課題から学習が難しい。
- 学習塾等の放課後の場所での学習支援が得づらい。
- 言語の問題から、教科の学習を進めることが難しい。
- 日本語指導ができる人材が圧倒的に不足しており、学校での支援を十分に受けることができない。
- 学習障害のうち、音韻認識による困難については、字幕をつけることで、言葉がイメージしやすくなる。
- 障害の診断を受けていない場合でも、個々人の認知や特性によって、字幕があることで学びやすくなる。



# eboardの映像授業

約2,000本あるeboardの映像授業は、これまでに3,000万回以上の視聴、時間にして200万時間以上の学習機会を生み出してきました。家庭から、学校や放課後の居場所まで、利用の場所は多岐にわたります。



視聴回数

3,000万回

視聴時間

200万時間

※ ICT教材eboardおよびNPO法人eboardが直接運営する各種チャネルの合計。提供を行う外部企業プラットフォームなどは除く。

小学2年生の娘が学校にいけなくなり、自宅での勉強をどうするか模索していました。そんな時見つけたこちらの動画は、娘が「おもしろい!」「さんすうやっぱり好きかも!」と、こんなにも楽しそうに勉強にむかう娘を初めてみました。

今も鼻歌うたいながら、答え合わせをしています。今日、eboardさんを見つけ、活動内容を拝見し、「学びをあきらめない社会へ」という言葉に涙が出ました。

dyslexiaの息子は、現在は理解のある通常学級でiPadを使用しておりますが、以前の学校では理解が得られず不登校を選択していました。

不登校の間「いーぼーど」があったおかげで「大丈夫」って自信を失わずにいれたとのこと。感謝の気持ちでいっぱいです。

母子家庭で、自宅で学習していくには経済的にも心配でしたので大変ありがたく、語り口調も親しみやすい動画に、息子も取り組みやすいように助けて頂いています。

どのような事情でも場所を選ばず、わかりやすい学習ができることは本当に心強いです。



## コロナ禍でのeboardの活用

**休校期間中 100万人が利用**

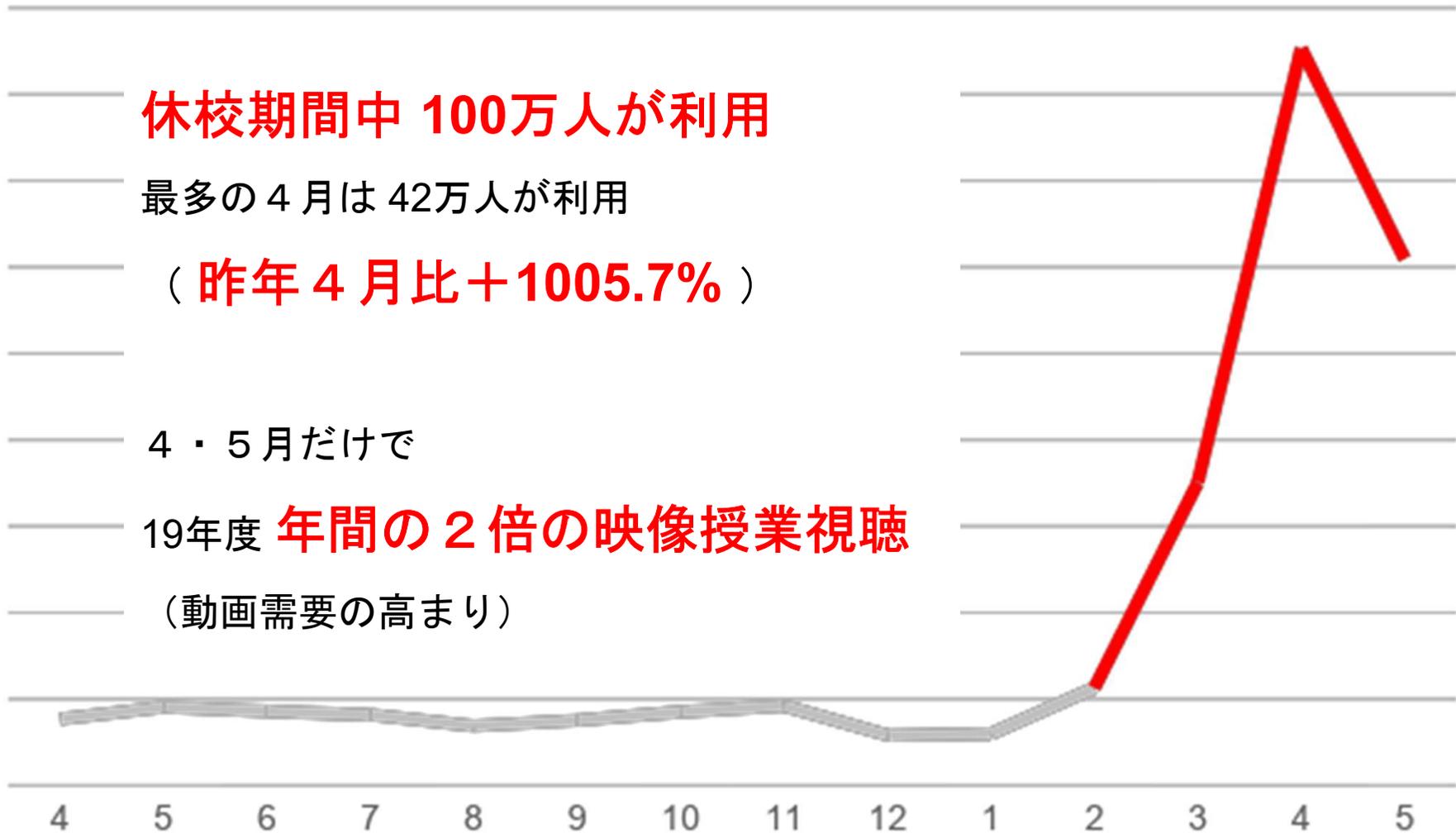
最多の4月は42万人が利用

( **昨年4月比+1005.7%** )

4・5月だけで

19年度 **年間の2倍の映像授業視聴**

(動画需要の高まり)

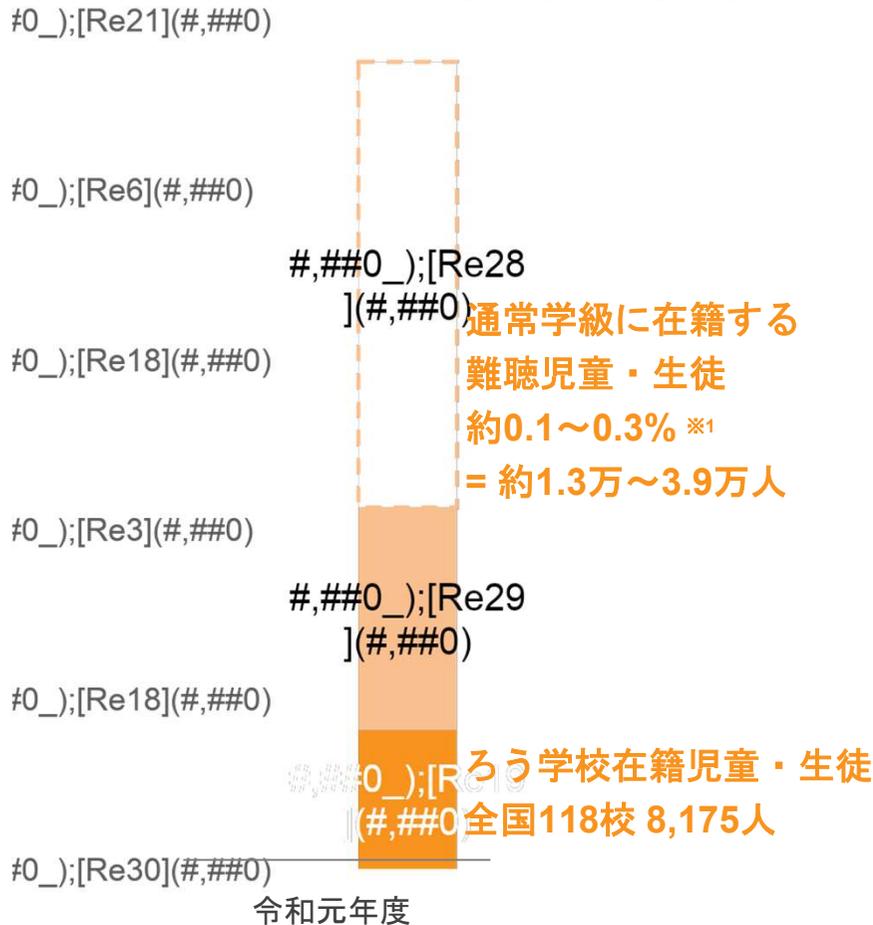




# プロジェクトの対象と課題 ① ろう・難聴の児童・生徒と学習課題

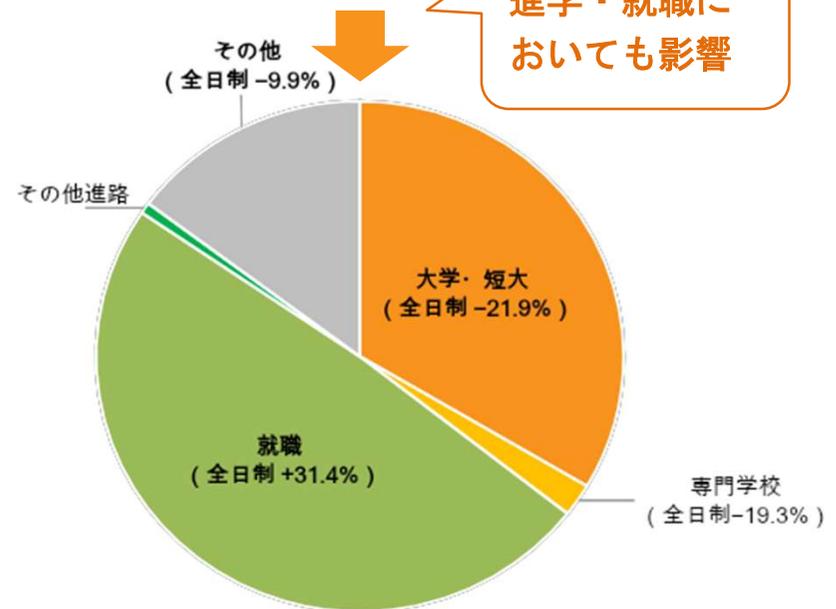
ろう学校児童・生徒約8,000人に加えて、難聴を抱えながら通常学級に在籍する児童・生徒は、全国で約1.3～3.9万人ほどいると想定され、言語力や学力の習得において課題を抱えている。

## ろう学校生+難聴児童・生徒総定数



長南・澤（2007）※2では、ろう学校高等部生徒の言語力は小学校5年生3学期の水準程度があることが報告されており

- ① 授業改善等を中心とした言語力を高める指導
- ② 言語力を考慮した指導・教材の提供が求められている。



出典：文部科学省「学校基本調査」より作成

※1 河村・高橋（2013）愛媛県の通常学級に在籍する難聴のある子どもの実態調査『愛媛大学教育学部紀要』60, 185-194を参考に推定

※2 長南・澤（2007）読書力診断検査に見られる聾学校生徒の読書力の発達『ろう教育科学』49, 101-112



## プロジェクトの対象と課題 ① 聴こえに関連した字幕へのご要望

（抜粋）特に聴覚障害（一般的には難聴）のお子さんたちの9割が普通学校に進学し、聞こえない部分を自分で気付くことなく、視覚情報に頼り、学校外で塾・予習・復習と必死に勉強しています。

日本語の助詞や抽象的な言葉を耳から学び取ることができないことも課題で、私たちが提供するような文字による視覚的支援が必要な状況です。しかし、難聴に対する理解は障害の中で最も遅れており、全国的に支援制度も確立されておらず、私たちのサービスが継続して入れる学校は少ないのが現状です。

そこで、貴法人の提供される教材の、国語や社会などに字幕を付与していただけないか、ご相談をさせていただきたく、ご連絡しました。

難聴があると、人工内耳という機器を耳の中に装用する手術を受けたり、心臓や内臓などにも重複障害をお持ちのお子さんが多く、入退院を繰り返す際にも貴法人の教材は、とても有意義な学びを保障してくださるのではないかと思います。何らかの方法で、字幕の付与をご検討いただきますよう、できれば、ぜひ、一緒に活動をさせていただけますよう、なにとぞよろしくお願いいたします。

（抜粋）聴覚しょうがい児を対象とし勉強の指導を行なっている塾は、全国でも東京に1つしか無く、聴覚しょうがい児は聴聴と同じ塾に通わざるを得ないという実態があります。結果的に、塾の講師と意思疎通が十分に出来ずに、結果的に他の耳が聞こえる子に比べて、授業の進捗が遅れるケースや授業の質が保障されないケースがしばしばみられます。

また、中には手話を第1言語とする者も数多くおり、第2言語の繊細な表現を持つ日本語を完全に身につけることには限界があります。その為、第2言語である日本語での筆談でやりとりをする授業は、両者間での完全な意思疎通をする事は困難であり、またタイムラグも生じてしまいます。こうして、大学に行きたくても結局学力的な支援の不足によって大学進学ができず、就職するという悪循環が現在起こっています。

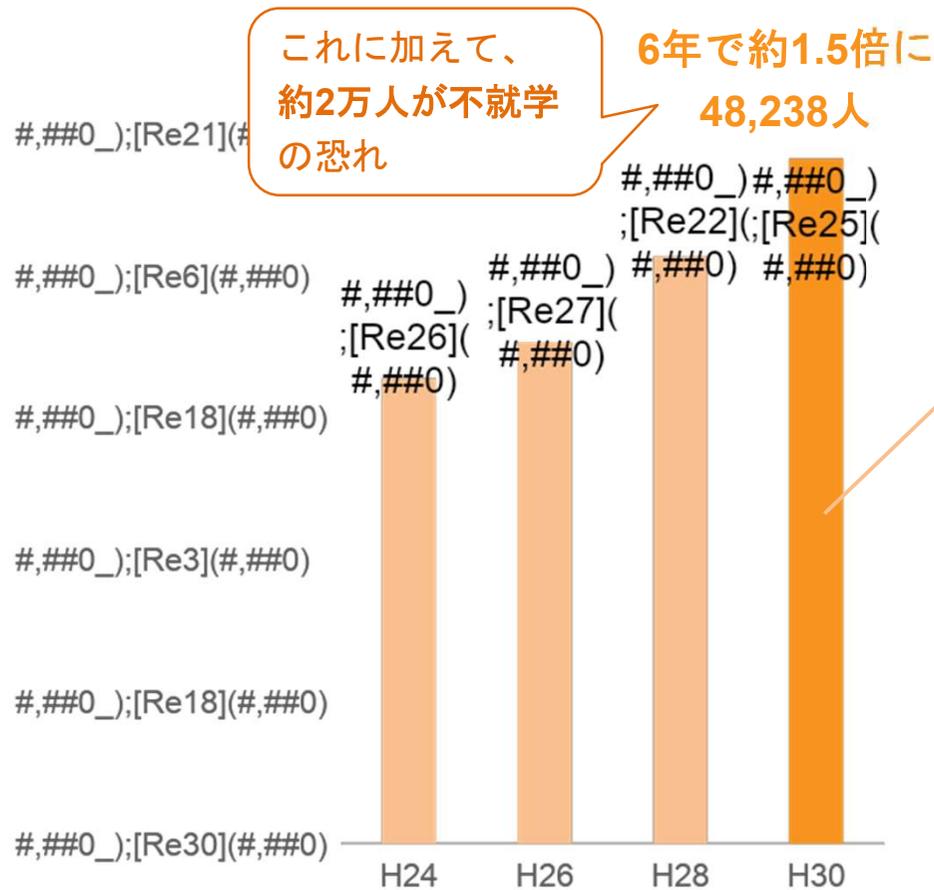
貴社が提供している授業動画は、大変分かりやすい授業を配信しているとの定評をよく耳にします。そこで、貴社が提供している授業動画に、日本語字幕をつけさせて頂くことの御検討を心よりお願いいたたく存じます。もしもこれが実現しましたら、必ず聴覚しょうがい児の教育に大きな恩恵をもたらすと私は確信しております。



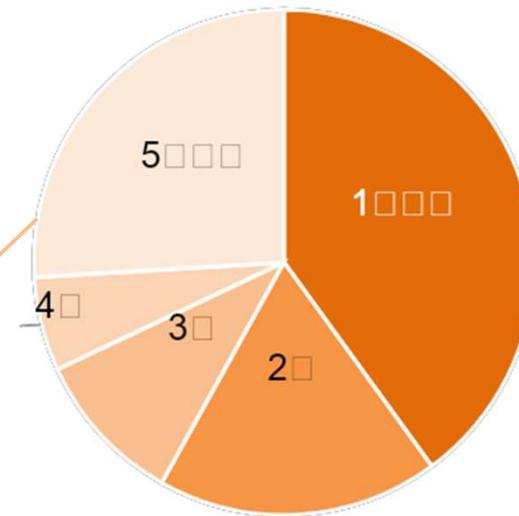
## プロジェクトの対象と課題 ② 日本語指導が必要な児童・生徒概況

日本語指導が必要な児童・生徒は、外国籍・日本籍を合わせると約5万人おり、年々増加傾向にあり、外国人が集中する地域、散在する地域においても、日本語の指導および教科学習支援が求められている。

### 日本語指導が必要な児童・生徒数



### 日本語指導が必要な児童・生徒の在籍人数別学校数



都道府県別では、愛知、神奈川、東京、静岡などに集中しており、在籍する児童・生徒が数十%に至るような学校がある。  
一方で、ごく少人数が在籍する学校も全国に散在しており、そうしたケースでは対応が打ちづらくなる。

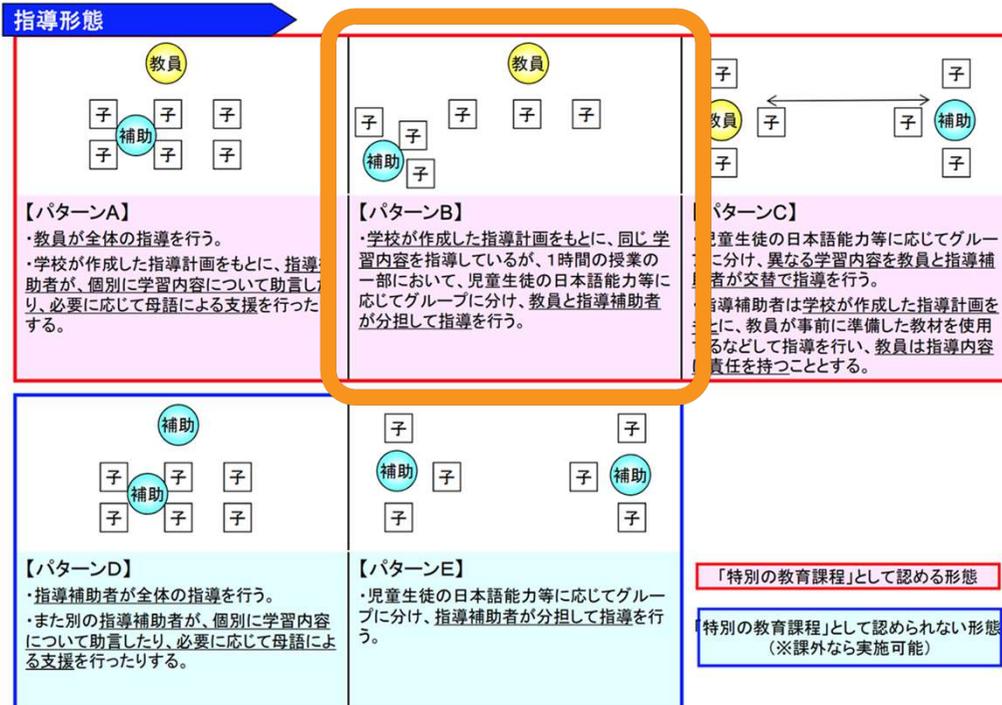


## プロジェクトの対象と課題 ② 公立学校における日本語指導

首都圏の大都市（300万人以上）および中部地方の小都市において、教員および日本語指導補助者の経験がある方に、公立学校での日本語指導の状況についてヒアリングを行った。

### 学校・地域の概況（中部地方の小都市）

- 市全体では人口が減少しているものの、外国人比率は年々増加。市内に部品工場があり、そこで働く方が多い。
- 市内に大規模校が3つあり、勤務校はそのうちの1つ。約10～15%が外国につながる家庭。  
首都圏の大都市の学校では、半数が外国籍の学校も複数あった。
- ブラジル系の方が多く、ついでタイ、フィリピンなど。日本で生まれた子もいれば、来日して1,2年の家庭もある。



### 授業や学習について（中部地方の小都市）

- 会話は堪能でも、両親ともに日本語を話さない場合など、学習言語や読み書きが著しくできないケースがある。
- 日本語を指導するクラスもあるが、基本は国語と算数の時間に、別教室で少人数の授業を行う（左図パターンB）。  
授業は日本語教師等ではなく、研修等を受けた教員が日本語で、通常学級と同じ進度になるよう進める。
- 言語力がネックになり、教科の学習に入らず、勉強が遅れてしまう。
- コミュニケーションがとりづらいため、教員も児童の反応がわかりづらい。



## 「やさしい字幕」プロジェクト やさしい字幕とは

本プロジェクトの対象者を想定した場合、学習上、伝わるべき情報を過不足なくシンプルに調整した理解のためにハードルの低い字幕「やさしい字幕」が必要になります。

### 自動文字起こし（誤字等一部修正）

1番南の方は沖縄とか南の方まで20度くらい  
北ずーっと北北海道の方まで行くと46度までその範囲  
になりますよと  
そして東経これは横東西を表すんやね。これは東経で  
言うと120

- くりかえしや、いいよどみの除去
- 学年に応じた未習漢字のかな化
- 文章の簡素化、標準化、分かち書き
- 日本語能力検定N3～N2レベルまで  
（=9歳、10歳の壁）への語彙の言い換え

### 「やさしい字幕」

1番南のほう、沖縄などの南のほうは、20度ぐらい。  
北は、北海道まで行くと、46度までが、その範囲にな  
ります。  
次に東経です。これは横、東西を表します。



<https://www.youtube.com/watch?v=pTHqT5uCjEE>

### 「やさしい字幕」自動翻訳（英語）

The southernmost area, such as Okinawa, is about 20  
degrees.  
If you go North to Hokkaido, it will be up to 46 degrees.  
Next is the east longitude. This means horizontal and  
east-west.

「やさしい化」により、自動翻訳の精度が  
上がり、外国語でも理解できる状態に。



## 「やさしい字幕」プロジェクト 対象となる映像授業と工数

学校種	教科	学年	本数
小学校	算数	4～6年	256
	理科	5・6年	約90
	社会	5・6年	約110
中学校	国語	全学年	172
	数学	全学年	307
	理科	全学年	245
	社会	全学年	300
	英語	全学年	127
計			1,607本

- 1本あたりの字幕作成工数（字幕ファイルのアップ・ダウンロード、チェックなど含む）  
6時間 × 1,607本 = **9,642時間**
- 2020年9月開始、21年3月に終了の場合  
10,000時間（9,642+予備）÷210日 = **47時間/日の稼働が必要**

※ なお、AI（機械学習）等による「やさしい化」については、データ量が不十分なため、自動化は困難。



## 「やさしい字幕」プロジェクト 実証協力校・団体

20年度から順次「やさしい字幕」へのフィードバックを頂しつつ、21年度は、各テーマごとに有効な字幕つき映像授業の活用方法や効果の検証を行って発信し、「やさしい字幕」を必要とする子へのラストワンマイルを埋めてまいります。

テーマ	学校・団体名	所在地	対象	協力状況	学校・団体概要
ろう	ろう学校	東京都	小学生	✓ 承諾済	eboardを導入済み。字幕の要望があったことから、これまでにヒアリング等を実施させて頂いている。
	ろう学校	京都府	小～高校生	協力打診予定	eboardを導入済み。以前に字幕の要望があった。
日本語指導	非営利団体	東京都	小～高校生	✓ 承諾済	東京都内で、日本語教員の資格をもつ職員が外国ルーツの子への学習支援活動を行なっている。 ヒアリング、検証にご協力頂いている。
	公立小学校	三重県	日本語指導クラス	協力打診中	ヒアリングを実施させて頂いた。以降の検証等についても、協力をお願いしたい。
	公立中学校	関東圏	中学生	eboard導入校へ打診予定	
学習障害	非営利団体	広島県	小～高校生	✓ 承諾済	発達障害等を中心に様々な障害のある方に対して、学びに関する専門的支援を臨床心理士が行なっている。
	特別支援学校	関東圏	小～高校生	eboard導入校へ打診予定	